

エンタメ情報サイトと連携したマルチデバイス対応の映像配信サービス

# クランクイン!ビデオ

<http://video.crank-in.net/>

## エンタメ情報サイトと連携して、関連作品をレコメンド!

「クランクイン!ビデオ」は、テレビ・パソコン・スマートフォン・タブレットで、いつでも簡単に、新作を中心とした約10,000本の映画やドラマが楽しめる、オンラインのレンタルビデオサービスです。エンタメ情報サイト「クランクイン!」\*1と連携し、読まれている記事や話題に関連する作品を自動でおすすめる機能を備えています。ワンクリックでエンタメ情報と動画視聴を相互にお楽しみいただける、新しいサービスです。

## 入会金は無料、単品購入もお得な月額プランも選べます

「クランクイン!ビデオ」は、入会金無料です。会員登録\*\*2をしていただくと、映画作品は1本300円(税抜)から、ドラマ作品は1話100円(税抜)から単品で購入でき、購入後48時間以内であれば何度でも視聴可能です(旧作の一部作品は、7日間視聴可能なものもあります)。その他、月額900円(税抜)で毎月2,000円分のポイントが付与される「プレミアムプラン」や「ドラマ月額見放題パック」など、お得な月額プランもご用意しています。新たに株主優待で贈呈するポイントとあわせ、ぜひサービスをご活用ください。(株主優待の内容は6ページをご参照下さい。)

※1 エンタメ情報サイト「クランクイン!」とは? ハリウッドチャンネル株式会社が運営する、映画を中心にテレビ・ゲーム・アニメ・海外ゴシップなど、幅広い情報を提供するエンタメ情報サイトです。PV数は月間約6,000万件、毎月400本以上のニュースを配信しており、「クランクイン!」限定の独占インタビューやコラムも充実しています。

※2 会員登録時は「プレミアムプラン」のご加入が必須となります。不要な方は、無料おためし期間(2週間以内)に解約すれば、月額費用はかかりません(無料おためし期間は、初回登録後の2週間のみ)。



## コーポレートサイトのご案内

最新ニュースはもちろん、プレスリリース、投資家情報などを随時更新しています。また、個人・法人向けサービスやグループ会社サイトとリンクしていますので、必要な情報を素早く閲覧することができます。ぜひご利用ください。

<http://www.broadmedia.co.jp/>

ブロードメディア

検索



ブロードメディア株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂8-4-14 青山タワープレイス6F

# 2016

The Second quarter business report

株主通信

第21期 第2四半期決算のご報告  
2016.4.1 ● 2016.9.30



Broadmedia

## CONTENTS

- 01 ブロードメディアグループの強み
- 02 トップインタビュー
- 07 トピックス
- 09 セグメント別の業績
- 11 四半期連結財務諸表(要約)
- 13 会社データ
- 14 株式データ

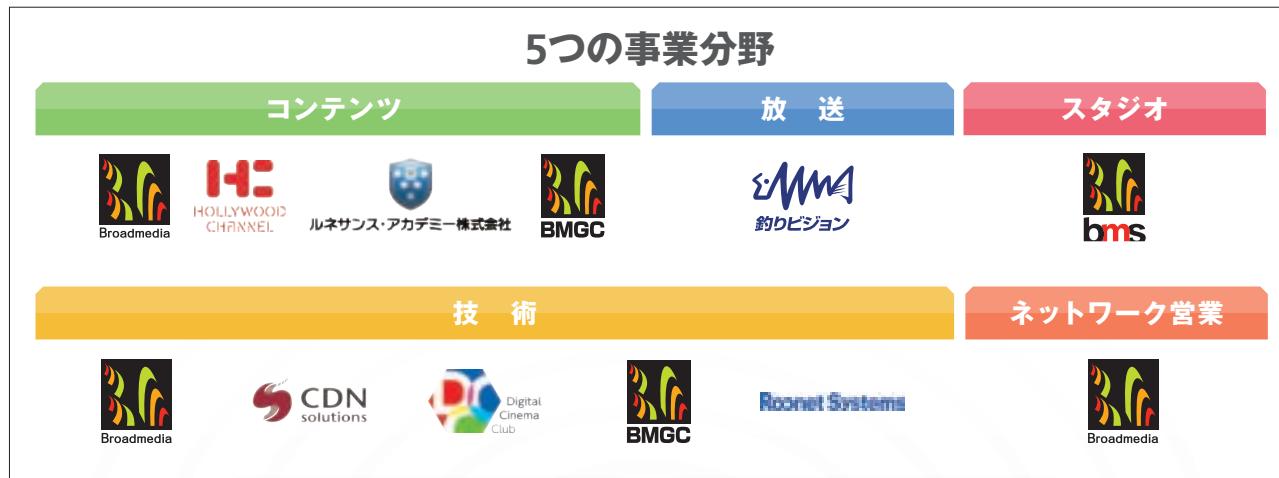
ブロードメディア株式会社

証券コード:4347

「コンテンツの調達能力」 × 「コンテンツを安定的かつ高品質で配信する技術」

## コンテンツの調達と配信技術の2つを併せ持つ独自性が強み

5つの事業分野が緊密に連携を取り、相互に協力しあうことで、「創造力が生み出す優れた作品やサービスを広く社会に普及させ、より豊かなコミュニティの形成・発展に貢献する」という企業理念を推進しています。



個人向けサービス・法人向けサービス

さまざまなコンテンツを、  
独自性のある技術との組み合わせで、  
世の中のさまざまな端末に配信



携帯電話



スマートフォン



タブレット



パソコン



テレビ



映画館

## クラウドゲーム事業を再編し、 持続的成長と発展、 企業価値の向上を目指します

代表取締役社長 橋本 太郎



### Q 今期の業績と経営課題について お聞かせください

今年度の上期の成果としては、期初に想定した以上の業績を実現できたことだと思います。特に顕著な回復を見せたのが「スタジオ」セグメントでした。まず制作事業については、もともとのハリウッド映画の字幕吹き替えに加えて、最近では文字放送字幕(クロード・キャプション；聴覚障害者の方にテレ

ビ放送を楽しんでいただくための字幕)という、新たな制作分野の進捗もあり、業績がしっかり伸びてくれました。一方で海外VOD事業者の本格的な日本市場への進出という、特別な需要が昨年度の後半から大きく貢献しており、今後もそれが継続するように、しっかりと努力をしていきたいと思っています。

「スタジオ」セグメントは、海外の映画・ドラマの番組販売事業においても、順調に売り

上げと利益を伸ばすことができました。更に映画配給事業においても、久々の自社製作・配給による『セトウツミ』が好調な成績を上げることができたことで、3部門そろって増収増益となりました。

「技術」セグメントは好調に推移し、しっかりとグループを支えてくれるようなレベルまで成長してきたと思いますし、「放送」セグメントの釣りビジョンも堅調に推移しました。

また、今年度より開示セグメントの変更を行い、当社管理部門に係る費用・損益を「全社費用」として別セグメントにしました。そうすることで、事業セグメントごとの損益が明確になり、特に「ネットワーク営業」に関しては、事業の状態をよりわかりやすくお伝えできるようになったと思います。このセグメントは、微妙に営業黒字と赤字を行き来する状態が続いており、戦略的な対応が必要です。具体的な変革をどういうタイミングで行うのが課題であると考えています。

「スタジオ」と「ネットワーク営業」が黒字化したことで、セグメントとしての赤字は「コンテンツ」セグメントだけとなっています。このセグメントには、クラウドゲーム事業、デジタルメディア事業、教育事業という3つの事業が含まれており、教育事業は黒字で推移しておりますが、残りの2つの事業は現在も赤字の状態にあります。しかし、状況は改善しています。クラウドゲーム事業とデジタルメディア事業は、引き続き当社の将来を担う戦略的事業と位置づけています。どちらの事業も、ここに来てようやく新たに成長を目指す体制が整ったという想いがあり、これからはしっかりと伸ばしていきたいと思っています。

## Q 将来を担う2つの戦略的事業の状況についてお聞かせください

クラウドゲーム事業については、この4月にGクラスタ・グローバル社(GCG社)が解散

を決議して以降、様々な展開がありました。まずはGCG社が保有する数十件の特許を含む重要な資産を子会社であるブロードメディアGC社(BMGC社)が取得し、これまでのGCG社のパートナーであったフランス大手通信事業者のOrange社とSFR社との間に、新

たにBMGC社としてライセンス契約を締結いたしました。GCG社の資産およびリストラ後の事業は、すべてBMGC社で吸収し、コア技術をグループで直接的に保有する体制が構築されましたので、その強みを活かして発展を目指してまいります。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	第2四半期 業績予想 (7月28日発表)	第2四半期 実績	差異	第2四半期 業績予想 (7月28日発表)	第2四半期 実績	差異
コンテンツ	900	<b>959</b>	↑ 59	△180	<b>△172</b>	↑ 7
放送	2,800	<b>2,866</b>	↑ 66	160	<b>177</b>	↑ 17
スタジオ	1,300	<b>1,424</b>	↑ 124	100	<b>132</b>	↑ 32
技術	900	<b>902</b>	↑ 2	130	<b>148</b>	↑ 18
ネットワーク営業	400	<b>335</b>	↓ △64	10	<b>6</b>	↓ △3
全社費用	—	—	—	△240	<b>△230</b>	↑ 9
合計	6,300	<b>6,487</b>	187	△20	<b>62</b>	82
	通期 業績予想	第2四半期 実績	進捗率	通期 業績予想	第2四半期 実績	進捗率
通期予想に対する進捗	13,000	<b>6,487</b>	50%	150	<b>62</b>	42%

もう1つのデジタルメディア事業に関しては、当社の子会社であるハリウッドチャンネル社が提供しているVODサービス「クランクイン！ビデオ」において、多くのハリウッドスタジオや国内のコンテンツ事業者からの調達体制を確立しています。また同社が行ってきたエンタメ情報サイト「クランクイン！」との連動など、サービスの強化をすすめています。ばらばらに行ってきた事業を、昨年ハリウッドチャンネル社に集約したわけですが、その効果がようやく出てくると思います。

こうした独自性の高い事業を育成する前提となっているものは、既存事業の収益の拡大だったわけですが、過去、新規事業の立ち上げで最も先行費用が発生している時期に既存事業が振るわなかった結果、株主の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。現時点においては、こうした先行費用を吸収してなお営業黒字・経常黒字を実現しつつあります。出来るだけ早くこの2つの事業が成長軌道に

乗り、黒字化することによって大幅に業績を向上させることができるように努力いたします。

## Q 株主優待制度の新設についてお聞かせください

現在、当社は配当が出せない状態にありますが、アンケートや、その他の機会にいただいた株主の皆様のご要望に対し、何ができるかということを中心に内部で検討し、来年度から株主優待制度を開始することを決定しました。内容については様々なアイデアがありましたが、株主様のメリットに加えて、当社事業への理解を深めていただきたいという想いもあり「クランクイン！ビデオ」でご利用いただけるポイントを贈呈することにいたしました。「クランクイン！ビデオ」では、ハリウッドや国内の新作映画やドラマを中心に、約10,000タイトルの作品を用意しておりますので、この機会に是非ご利用いただければと思います。

## Q 株主の皆様へメッセージをお願いします

業績の回復をしっかりと実現し、持続的な成長を実現するという話には尽きるわけですが、期初にお話しした通り、今年度においては営業利益の増加と経常損益の黒字化まで、到達可能な業績の目標であろうと考え

ております。純損益の黒字化に関しては、来期以降の目標となりますが、そこに辿り着くための業績の向上、および戦略的な対応に関して鋭意努力してまいりますので、株主の皆様におかれましては、どうか引き続きご支援を賜りますように、よろしくお願い申し上げます。

## 株主優待制度の新設に関して

### ハリウッドチャンネル株式会社が提供する映像配信サービス「クランクイン！ビデオ」で利用可能なポイントを贈呈

#### 1 対象となる株主様

2017年3月31日時点において1,000株(10単元)以上を保有する株主様

#### 2 贈呈するポイント数

保有株式数	継続保有期間	
	1年未満	1年以上
1,000株以上~5,000株未満	1,000ポイント	1,500ポイント
5,000株以上	4,000ポイント	6,000ポイント

※1,000ポイントなら新作映画を2本、6,000ポイントなら13本ご視聴可能

#### 3 優待内容(ポイント)の贈呈時期

株主総会終了後に対象の株主様へ「株主優待のご案内」を郵送予定

## 『ファイナルファンタジー® XIII』シリーズ等のクラウドゲームアプリ4作品がワイヤレスゲームパッドに対応!

株式会社スクウェア・エニックスの人気タイトル『ファイナルファンタジー® XIII』シリーズを含めた4作品のクラウドゲームアプリが、iOSおよびAndroid対応のワイヤレスゲームパッドに対応しました。スマートフォン・タブレット向けクラウドゲームアプリを家庭用ゲーム機で慣れ親しんだ操作性で自由自在にプレイすることが可能となり、より遊びの幅が広がります。また、その他のクラウドゲームアプリも随時対応していく予定です。



iOS対応		Android対応	
HORIPAD ULTIMATE ワイヤレス ゲームコントローラ	SteelSeries Nimbus ワイヤレス ゲームコントローラ	Gamevice Controller for iPhone	Mad Catz C.T.R.L.® Mobile Gamepad
ファイナルファンタジー® XIII	ファイナルファンタジー® XIII-2	ライトニング リターンズ ファイナルファンタジー® XIII	ラスト レムナント

© 2009, 2010, 2013-2015 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved. CHARACTER DESIGN: TETSUYA NOMURA  
© 2008 SQUARE ENIX CO.,LTD All Rights Reserved. / Unreal®Engine, Copyright 1998-2008, Epic Games,Inc. All rights reserved.

## ブロードメディアGC社にグループのクラウドゲーム事業を集約

クラウドゲーム事業について、当社完全子会社のブロードメディアGC株式会社への事業譲渡が完了いたしました。また、欧州大手通信事業者との契約締結も2016年10月に完了し、欧州での技術提供特化を含めて、当初の予定通りの形でGクラスタ・グローバル株式会社の取引先との新規契約締結が完了しました。引き続き経営資源を投入し、新たな体制で事業の成長・発展に努めます。



## 新しい学びの形を提供する教育事業

### ルネサンス高等学校が「新宿代々木キャンパス」を移転・拡張!

2016年9月に、ルネサンス高等学校が「新宿代々木キャンパス」を拡張移転しました。通学コースの生徒数増加により、フロア数、教室数を増やし、学習ブース、面談ブースも一層の充実を図ったことで、生徒一人一人にきめ細かな学習指導ができる環境となりました。通学コースでは、補習授業のほか、プログラミングや英会話、個別受験指導、リメディアル教育など、生徒の要望に応じて様々な教材や教育プログラムを用意しています。



URL : <http://www.r-ac.jp/>



### 生徒一人一人のライフスタイルに合った"学び"を提供

ルネサンス高等学校開校(2006年4月)から10年、インターネットを主とした学習環境を導入、生徒一人一人のライフスタイルに合った"学び"を提供し、8,000名以上の卒業生を送り出してきました。

2016年度(第49回)日本女子オープンゴルフ選手権では、ルネサンス高等学校3年、畑岡奈紗さんが優勝。俳優、アイドル、声優、音楽家、バレエやゴルフなどの、プロを目指している生徒が多岐に渡り活躍中です。



# セグメント別の業績

## コンテンツ

売上高  
959百万円  
(前年同期比6.2%減)



事業・サービス内容  
クラウドゲームサービス/  
デジタルメディアサービス/  
教育サービス

教育サービスでは、入学生徒数は増加したものの、デジタル学習教材の販売が減少しました。クラウドゲームサービスでは事業の再編に伴い、当社の持分法適用非連結子会社であったGクラスタ・グローバル(株)から資産や人員を譲り受けたことで費用が増加したこと等から、損失は拡大いたしました。

営業利益  
△172百万円  
※(前年同期は△93百万円)

## 放送

売上高  
2,866百万円  
(前年同期比9.8%増)

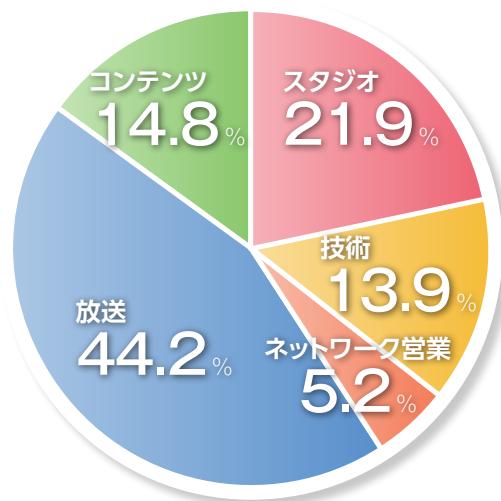


事業・サービス内容  
釣り専門チャンネル「釣りビジョン」

制作売上が好調に推移しましたが、それに伴う外注費が増加しました。その結果、売上高は増加しましたが、営業利益は前年同期より若干減少いたしました。

営業利益  
177百万円  
(前年同期は187百万円)

売上高合計  
6,487百万円



※セグメント変更後の参考値  
第1四半期より、事業セグメントの損益をより明確に開示するため、管理部門に係る費用・損益を全社費用に区分しています。なお、売上高については従来と変更ありません。

## スタジオ

売上高  
1,424百万円  
(前年同期比21.5%増)



事業・サービス内容  
制作事業/番組販売事業/映画配給事業

制作事業及び番組販売事業は、受注が大幅に増加しました。また、映画配給事業で製作・配給をおこなった映画『セトウツミ』の興行収入が想定を上回ったこともあり増収となり、営業損益は黒字化しました。

営業利益  
132百万円  
(前年同期は△53百万円)

売上高  
902百万円  
(前年同期比17.2%増)



事業・サービス内容  
CDNサービス/デジタルシネマサービス/  
その他サービス

子会社のCDNサービスの堅調な推移、デジタルシネマサービスにおける映画館への配信の伸び、ホテル向けインターネットサービスの提供が増加しました。また前期にデジタルシネマサービスのリース資産を減損処理し、売上原価が減少したこと等から増収増益となりました。

営業利益  
148百万円  
※(前年同期は118百万円)

売上高  
335百万円  
(前年同期比4.6%増)



事業・サービス内容  
ISPサービス販売/  
携帯電話サービスの取り扱い/  
ブロードバンド回線販売

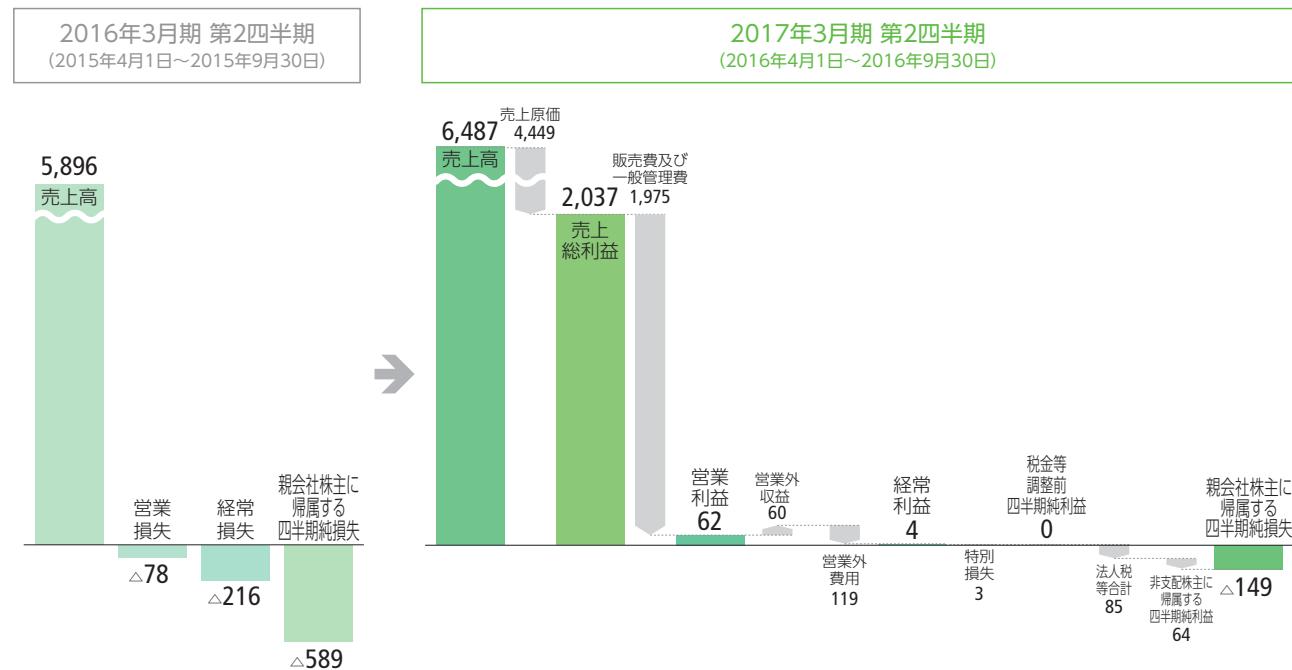
新商材である「光コラボ(SoftBank 光)」の販売は増加しました。また解約引当率の低下により原価率が改善されたことから、営業損益は黒字となりました。

営業利益  
6百万円  
※(前年同期は△1百万円)

# 四半期連結財務諸表(要約)

## 連結損益計算書

(単位:百万円)



### IRサイト「投資家情報」のご案内



直近の決算情報や株式情報、株主優待などについてもご覧いただけます。

#### 【掲載資料】

決算短信、有価証券報告書、株主通信、株主総会のご案内、電子公告など

<http://www.broadmedia.co.jp/ir/>

### 売上高

「コンテンツ」は減収となりましたが、他の4つのセグメントが増収となったことで、売上高は増加いたしました。

### 営業利益／経常利益

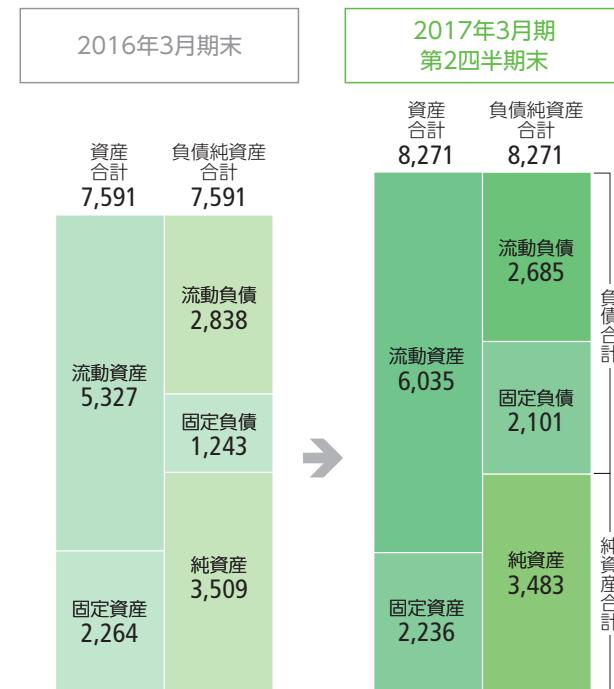
「放送」「ネットワーク営業」は前年同期と同水準となりましたが「スタジオ」「技術」が増益となり、営業利益は黒字となりました。経常利益は、持分法による投資損失が減少したことや円高により為替差益が増加したことが主な要因となり、黒字となりました。

### 親会社株主に帰属する四半期純損失

子会社における税金費用や非支配株主に帰属する四半期純利益を計上したこと等が影響し損失を計上しました。

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)



### 資産合計

新株式及び新株予約権付社債を発行したことで、現金及び預金が増加したことや、Gクラスタ・グローバル株式会社からの資産譲り受けに伴いのれんが増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ9%増加しました。

### 負債合計

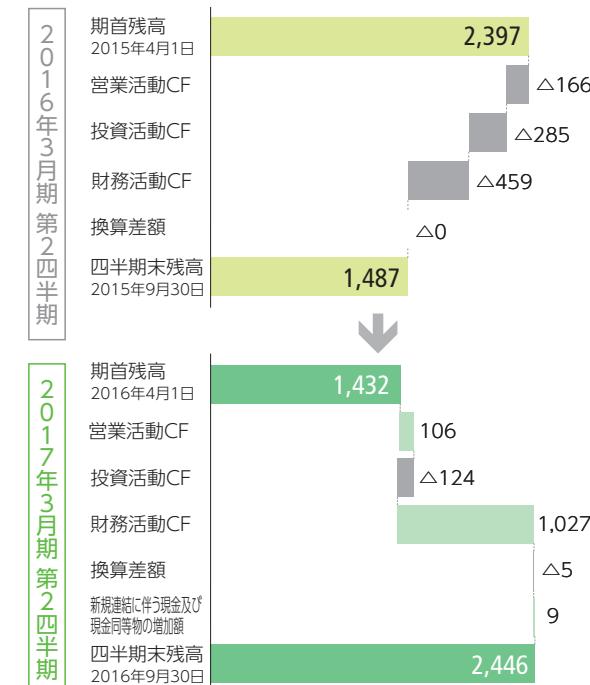
買掛金や前受金、長期リース債務が減少しましたが、新株予約権付社債を発行したこと等により、前連結会計年度末に比べ17%増加しました。

### 純資産合計

新株式の発行や新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金が増加し、非支配株主持分が増加しましたが、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことにより、前連結会計年度末に比べ1%減少しました。これにより、自己資本比率は28.6%となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



### 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益を計上したことに加え、売掛債権やたな卸資産が減少したこと等により、プラス106百万円となりました。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

持分法適用非連結子会社であったGクラスタ・グローバル株式会社から資産を譲り受けたこと等により、マイナス124百万円となりました。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

リース債務の返済がありましたが、新株式及び新株予約権付社債の発行による収入があったことや借入を行ったこと等により、プラス1,027百万円となりました。

# 会社データ

(2016年9月30日現在)

## 会社情報

社名	ブロードメディア株式会社
英文社名	Broadmedia Corporation
設立	1996年9月5日
資本金	2,969,996千円
従業員	34名(連結412名)
URL	http://www.broadmedia.co.jp/

## グループ会社



### 株式会社釣りビジョン

http://www.fishing-v.jp/

釣り専門チャンネル「釣りビジョン」の制作並びにBS放送、およびスカパー！プレミアムサービス・ケーブルテレビ局等に向けて番組供給事業をしています。

設立：1998年3月 所在地：東京都新宿区



### ルネサンス・アカデミー株式会社

http://www.renaissance-academy.co.jp/

スマホ・タブレット、PCを活用してインターネットで学習する通信制高校「ルネサンス高等学校グループ」3校を運営。開校から10年の間に、在籍した生徒数は1万人超。ネット高校のイノベーターとして、さらなる発展を目指し、教育内容を進化させていきます。

設立：2005年10月 所在地：東京都港区



### ハリウッドチャンネル株式会社

http://www.hollywood-ch.com/

新作洋画・新作邦画・ドラマを中心とした映像をTV・PC・スマートフォン・タブレット向けに配信しております。また、映画・ドラマを中心としたエンタメニュース配信、広告宣伝業務、公式サイト制作受託を行っております。

設立：2003年4月 所在地：東京都中央区



### ルーネット・システムズ株式会社

http://www.roonets.co.jp/

ホテル・病院等のホスピタリティ市場向け、施設内インターネット環境の設計から運用・保守・管理までトータルソリューションを提供しております。

設立：2014年5月 所在地：東京都中央区

## 取締役および監査役

代表取締役社長	橋本 太郎	常勤監査役	浦沢 武士
取締役	嶋村 安高	監査役	白石 文人
取締役	久保 利人	監査役	北谷 賢司
取締役	押尾 英明	監査役	佐藤 淳子
取締役(非常勤)	有澤 僚		
取締役(非常勤)	桃井 隆良		
取締役	関 伸彦		

※ 関伸彦は、社外取締役であります。

※ 浦沢武士、白石文人、北谷賢司および佐藤淳子は、社外監査役であります。



### ブロードメディア・スタジオ株式会社

http://www.bmstd.com/

外国映画・海外ドラマのテレビ放映権の販売、日本語版(字幕・吹替)の制作、および外国映画の劇場配給・映画宣伝、DVDビデオの発売・プロモーション等を行っています。

設立：2000年8月 所在地：東京都中央区



### CDNソリューションズ株式会社

http://www.cdn-sol.co.jp/

CDNサービスのパイオニア。「アカマイ」の主要代理店。商用ウェブサイトの高速化、WAFやDDoS対策等のセキュリティ、グローバル配信等のソリューションをお客様の環境に合わせて提供しております。

設立：2001年4月 所在地：東京都千代田区



### デジタルシネマ倶楽部株式会社

http://www.dcinema.jp/

映画館へデジタル機材の導入を推進する配給・興行向けVPPFサービスを提供しております。

設立：2010年4月 所在地：東京都港区



### ブロードメディアGC株式会社

http://www.broadmediagc.co.jp/

クラウドゲームに適した技術システム、コンテンツ、ビジネスモデルを提供しております。

設立：2004年9月 所在地：東京都港区

## 株式の状況

発行可能株式総数	128,000,000株
発行済株式の総数	69,861,611株
株主数	13,937名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社SBI証券	2,515	3.66
橋本 太郎	1,019	1.48

※発行済株式の総数には、自己株式(1,157,332株)を含んでおります。

※所有者別株式分布の「個人その他」には、自己株式を含んでおります。

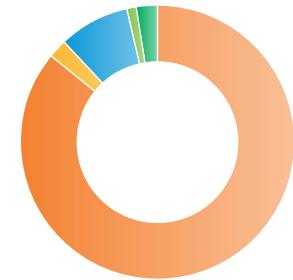
※大株主の出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

※橋本太郎の持株数には、Japan Opportunities Master Fund Ltd. との株券貸借契約に基づく600千株を含めて表記しております。

# 株式データ

(2016年9月30日現在)

## 所有者別株式分布



	持株数(千株)	出資比率(%)
個人その他	60,071	85.99
その他国内法人	1,537	2.20
証券会社	5,892	8.43
金融機関	682	0.98
外国人	1,677	2.40

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

期末配当基準日 3月31日

中間配当基準日 9月30日

上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQスタンダード

公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載)  
http://www.broadmedia.co.jp/  
ただしやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に 口座をお持ちの場合	証券会社等に 口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主 配当金受取り方法 の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお 取扱いたします。
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
ご注意	支払い明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。